



「ふりかえり」は新たな成長への一歩

ずっと歩き続けると疲れます。立ち止まることも必要です。私は『ふりかえり』がそれに当たると考えます。これまでを振り返る時、『ナイストライ』であったかどうかで考えたいものです。「結果」を気にしすぎるよりもその「過程」、何を続けてきたのか？何に挑戦してきたのか？に注目することが大切です。また、ともに協力し合った仲間をはじめ周囲の方との「きずな」にも目を向けてください。「結果」に執着すると、達成できなかったことに落ち込み、次への活力は生まれにくいです。また、できないことに囚われ、やる前からあきらめたり逃げたりしてしまいます。「過程」に目を向け、今できることを少しでも進めてほしいです。

『ふりかえる』と、上手くいかなかったこと、他者の悪いところがよく見えます。ついつい他者を責めてしまします。周りの環境を変えることに執着するのではなく、自分の課題に誠実に向き合うことをお勧めします。なぜなら、他者や社会を変えるのは一筋縄ではいかず、時間もかかり、往々にして変わらないことが多いからです。一人一人の思考には違いがあり、その方向性を合わせるのは困難です。変えるなら周りではなく自分です。自分を変えるのは自分次第です。今この瞬間より、気持ち一つで変えることは可能です。スタートはいつでも、何度でもできます。無理に変える必要はありませんが、今できることを自分で考え判断し少しづつでも進めると、自然と変化は生まれ、その歩みが後々、自分を助けてくれます。

『ふりかえる』と、いろんな困難や課題に直面します。人は困難や課題に向き合うと、ありたい自分を想像し、解決や改善を模索します。人類の繁栄の歴史を振り返ってもそれがよく分かり、私たち一人一人にその力は備わっています。そこに、新たな成長への一歩が隠れています。先ほど、周りではなく自分を変えることを勧めましたが、一人では解決できない時もあります。そんな時は一人で悩まず、誰かに相談してください。周りを責めるのではなく一緒に歩めたら、困難や課題に立ち向かう勇気も湧き、解決や改善を図る上で大きな力を得ます。

- 『ふりかえり』が大切です。「結果」ではなく「過程」…『ナイストライ』に注目する。
- 自分を見つめ困難や課題に真摯に向き合い、自分ができることから一つずつ取り組む。
- 『ナイストライ』の精神でお互いに励まし合える仲間との「きずな」を大切にする。

2学期もよく頑張りました。まずは、この冬休みはゆっくりと体を休め、そして振り返り、新年の新たな目標を設定してください。始業式に、皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。お互いに事件や事故には巻き込まれないよう気をつけ、健康で元気に過ごしましょう。

自分で考え判断し、自分からできることへ責任を持って挑戦することが成長には必要です。じっくりと見守り本人に任せたいところですが、まだ成長途中であり時には支援も必要です。今学期を無事終えることができましたのは一重に、ご家族をはじめ、PTA の皆様、地域の方のお力添えのおかげです。今後ともよろしくお願ひいたします。

1月の予定	8日(木)始業式・集会・学活 16日(金)防災訓練(市内メイン会場) 23日(金)校内研究授業(1-1,3-1,3-5)	9日(金)1,2年あまっこステップアップ調査 22日(木)基礎学級なかよし作品展見学 24日(土)オープンスクール・新入生保護者説明会
2月の予定	9日(月)教育相談(～16日) 16日(月)3年公立2月入試 20日(金)2年修学旅行保護者説明会	10日(火)3年私学入試 19日(木)1年性教育講座 25日(水)学年末考査(～27日)

全校集会(12/8)にて表彰しました(^_^♪ 心からの賛辞を送ります

【 令和7年度 尼崎市理科作品展 】

自由研究作品	「ソフトテニスボールの性能比較調査」	優秀賞	「藍染～植物で布を染める～」	優秀賞
	入選	入選	入選	入選

【 第77回 兵庫県幼・小・中造形教育展(美術) 】

造形作品	兵庫県造形教育連盟賞	特選		
	入選	入選	入選	入選

【 令和7年度 赤十字ポスターコンクール 】

ポスター	「命をつなぐ赤十字」	優秀賞
------	------------	-----

【 第44回 全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会地区 尼崎大会 】

作文	入選	入選	入選
----	----	----	----

【 第9回 尼崎慈愛杯争奪 尼崎市中学校女子ソフトボール大会 】

女子ソフトボール	準優勝
----------	-----



【 第17回 尼崎招待バレーボール大会 VICTORY CUP 】

女子バレーボール V1トーナメント	第3位
-------------------	-----

【 第57回 尼崎サッカーカーニバル 】

中学生の部 ポールリフティング大会	第1位
-------------------	-----

12/3(2年)大阪城公園遠足

12/3(1年)レクリエーション

12/23(3年)球技大会 生徒同士の交流を深め、思い出づくり(^_^♪

「先生たちはよく君たち生徒のことを話しています。それは厳しいことも言うけれど、みんなが卒業するときに大成中でよかったですなあっていう思いをもって成長してほしいという思いがあるからです。みんなのことが好きだからです。学校はできないことをできるようにするための場所です。…みんなで一つの輪になって成長していくってほしい。」

学年の生徒へ向けてある先生が話された内容です。この言葉の思いは、どの学年の先生も同じです。多くの人が集まる学校だからこそ、自他尊重の精神でルールや約束は生まれます。しかし、それ以上に誰かと活動する楽しさや気づきからの学び、達成感や感動は、一人では味わえない体験です。その体験はよき思い出となり一人一人の応援歌になります。なぜ、学期末にこのような行事を各学年の先生が設定したのか、その胸の内、生徒のみなさんのよき成長を願う温かい心を感じいたら嬉しいです。

① 12/11生徒会選挙♪♪ 学校をつくるのは、主役である自分たちだ!!

17名の生徒が立候補し、11名が選出されました。昨年は信任投票であり、これだけ多くの生徒が立候補(挑戦)したことに対する感謝を受けます。前執行部のこれまでの取組への高い評価のお陰であり、自分たちで学校をつくる機運の高まりは頗もしい限りです。候補者演説からもその熱意が伝わります。これからの大成中も安泰です。



【候補者演説より】

「学校は生徒の声を聞いてくれる。」「生徒の声を学校へ届ける。」

「ポロシャツ導入や鞄の変更など、(その改革に)生徒会執行部に憧れる。」

「よりよい学校にしたい。」「みんなが(学校を)好きすぎて…日本一の学校にする。」

「(風紀的に)誰もが気持ちよく過ごせる」「学校の魅力を発信したい。」

「みんなが楽しめる(おもしろい)体育大会(文化発表会)にしたい。」

「心が落ち着きやる気や集中力が高まる、清潔で整っている、日本一きれいにする。」

「(募金など)世界の貧しい人達の役に立ちたい。」

「(大成中の)あいさつは気持ちよく(生徒も)いいな…あいさつの輪を広める。」

「みんなの健康を陰で支え、みんなが元気に過ごせる。」

「生徒によりそった放送を行う」「休み時間にみんなが行きたい図書室にする。」